

■枚方市立図書館第2次グランドビジョンの枠組みと理念

第1次ビジョンの成果と課題を踏まえ、これからの市立図書館運営を方向づけるため、あるべき姿を定め、それを具体化するための運営基本方針を明らかにしました。なお、第2次ビジョンは5年程度の中期的ビジョンとしますが、「市立図書館のあるべき姿(理念)」は長期的な位置づけを行います。

【市立図書館のあるべき姿(理念)】

- ①図書館は、知の源泉となる図書館資料を収集・保存し、広く市民に提供して、その教養、調査研究、余暇活動などに役立てる社会教育機関である。
- ②図書館は、市民のニーズに応じて資料や情報を提供する地域の情報拠点である。

【市立図書館の運営基本方針】

- ①市民の生涯学習を支援する図書館をめざします。
- ②図書館資料を計画的・系統的に収集し、未来に伝える図書館をめざします。
- ③市民のニーズに応じて、役に立つ図書館をめざします。
- ④だれもが使いやすく、市民とともに歩む図書館をめざします。
- ⑤効率的効果的なサービス提供を行う図書館をめざします。

展開

成果と課題を踏まえて

■枚方市立図書館グランドビジョン(第1次)の成果と課題

市立図書館では、平成16年3月に策定した枚方市立図書館グランドビジョン(第1次)に基づき、中央図書館を設置するとともに、中央図書館を核とした新たなネットワーク作りを推進してきました。

【成果】

- ①図書館資料の充実と情報化の推進
 - *37万冊(H21年度統計)を超える蔵書を抱える中央図書館設置
 - *全館オンライン化およびインターネット予約システムの導入
 - *貸出冊数が大幅に増加
- ②図書館システムの再構築
 - *開館時間の見直しと祝日開館の開始
 - *施設配置の見直し
- ③市民の図書館活動への参画
 - *中央図書館へのボランティア導入
- ④関係機関との連携
 - *北河内7市間の相互利用
 - *市外図書館との相互貸借
- ⑤職員の専門的資質の向上
 - *各種研修の実施と最小限の専門職員配置による職員数の削減

【第1次ビジョンの課題】

- ①図書等資料のさらなる充実とコンピュータシステムの更新
- ②新たな子ども読書活動推進計画の策定と適正な蔵書管理
- ③施設のバリアフリー化と香里ヶ丘図書館のリニューアル
- ④学校図書館との連携
- ⑤さらなる職員体制の見直し

【新たな課題】

- ①市立図書館サービスの特色づくり
- ②蔵書計画および選書基準の確立
- ③「市史編さん」機能の図書館サービスとしての活用
- ④図書館利用者層の拡大
- ⑤電子書籍への対応
- ⑥第三者の目線の導入と図書館評価システム

■第2次グランドビジョンのサービス展開

市立図書館の運営基本方針を柱に、主要なサービス展開の方向を定め、今後の図書館運営を行っていきます。

(1)主要なサービス展開の方向性

①市民の生涯学習を支援する図書館をめざします。

- (1)図書館利用者層の拡大
 - *実利用者率(注1)25%をめざす。
- (2)子ども読書活動の推進(学校図書館等との連携)
 - *枚方市子ども読書活動推進計画(第2次)の策定
- (3)成人サービスの充実
 - *幅広い情報提供と成人向け文化活動の実施
- (4)高齢者サービスの充実
 - *高齢者向け図書等の充実

②図書館資料を計画的・系統的に収集し、未来に伝える図書館をめざします。

- (1)図書館資料の充実
 - *蔵書計画および選書基準の確立
 - *計画的系統的な資料収集と蔵書の特色づくり
- (2)枚方地域コレクションの構築と専門的なレファレンス(注2)
 - *「枚方地域コレクション」の構築
 - *コレクションにかかる専門的なレファレンス

③市民のニーズに応じて、役に立つ図書館をめざします。

- (1)インターネット予約システムの充実やリクエストサービスの推進
 - *インターネット予約システムのカスタマイズ
 - *可能な限りのリクエスト(注3)対応
- (2)レファレンスサービス(調べもの相談)等の充実
 - *サービスの周知と利用の働きかけ
- (3)情報通信機器を活用したサービスの充実
 - *電子書籍にかかる積極的な調査研究

④だれもが使いやすく、市民とともに歩む図書館をめざします。

- (1)障害者・高齢者サービスの充実
 - *図書館利用が困難な障害者・高齢者等への宅配サービスの調査研究
- (2)図書館活動への市民参加と市民意見の反映
 - *ボランティアが幅広く自主的に活動できるシステム作り
 - *図書館運営にかかる外部委員会の設置
- (3)図書館の施設・設備の改修・改善
 - *香里ヶ丘図書館等のバリアフリー化と耐震化

⑤効率的効果的なサービス提供を行う図書館をめざします。

- (1)効率的効果的な運営体制の構築
 - *選択と集中による図書館システムの簡素化と開館時間帯等の見直し
- (2)職員の資質の向上と人材育成
 - *研修等による資質向上とリーダーシップの取れる人材の育成
- (3)適切な蔵書管理
 - *全館・全分室での年1回の図書点検および分館へのBDS(注4)導入と分室への防犯カメラ設置の検討
- (4)機械化・情報化などの検討
 - *自動貸出機やその他図書館サービス用機器の積極的な導入(情報セキュリティの確保には十分留意)

(2)市立図書館サービスの特色

- ①子ども読書活動の推進
- ②枚方地域コレクションの構築と専門的なレファレンス

(3)進捗管理と評価

- ①ビジョンの進捗状況を経年的に把握・検証して公表
- ②実利用者率等の指標や外部委員会の意見を踏まえ、図書館法第7条の3に基づく図書館評価を実施

(注1) 実利用者率 1年に一度でも図書館の貸出サービスを利用した利用者を「実利用者」と呼び、それを枚方市の人口(住民基本台帳+外国人登録)で除してパーセンテージで表したものです。平成21年度の実利用者率は21.4%
(注2) レファレンス 調べもの相談のこと。
(注3) リクエスト 図書館が所蔵していない資料について購入または市外の図書館等から借り受けて提供するように求めるもの。
(注4) BDS Book Detection System、いわゆる図書盗難防止装置のこと。